

2013年12月11日

報道関係各位

本田技研工業株式会社

**第43回東京モーターショー2013 Honda ブース内にて展示した
アイルトン・セナの24年前の世界最速ラップを再現する
「Ayrton Senna 1989」プロジェクト 特別コンテンツ
YouTube 内 Honda 公式チャンネルにて公開**

Honda は、2013年11月20日(水)から12月1日(日)まで開催された東京モーターショー2013 Honda ブース内にて、1989年に鈴鹿サーキットで開催されたF1日本グランプリでアイルトン・セナが記録した世界最速ラップの1周分のエンジン音と走行軌跡を様々な視点から体験することができる、特別コンテンツを展示いたしました。本コンテンツの映像動画は、(URL : <http://www.youtube.com/watch?v=5ES0JzU1Ep8>)にて公開中です。



今回の特別コンテンツは、Hondaの「インターナビ」が2013年に取り組んだ「Sound of Honda / Ayrton Senna 1989」の展開の一つで、1989年のF1日本グランプリ予選で、アイルトン・セナが「マクラーレン ホンダ MP4/5」を操り樹立した世界最速ラップを、記録された実際のアクセル開度や、エンジン回転数、車速の変化などの走行データを元に、現代に甦らせるという挑戦です。本コンテンツは、平成25年度〔第17回〕文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門大賞に選ばれました。

当時記録された走行データと現存する当時のマシンから録音したエンジンの響きを組み合わせ、1周1分38秒041にわたって忠実に再現したエンジン音と、FullHD-3DCGにより再現した軌跡を、様々な視点からインタラクティブに体験できるものです。

来場者からは、「24年前に鈴鹿で見ていた伝説のセナの走りがそのまま復活していて、体験できるなんて、本当に感激しました!」「セナは亡くなってしまったけれど、Hondaの魂は変わらず生きていることを見られて感激しました!」「WEB版でも凄いと思ったが、会場ではさらに迫力が増していて圧倒されました」という喜びの声が続々と寄せられました。

尚、「Ayrton Senna 1989」プロジェクトの全貌は、インターナビのWebサイト「dots^{※1} by internavi」内 (URL : <http://www.honda.co.jp/internavi-dots/dots-lab/senna1989/>)にて公開中です。

※1 「design our transportation story」の略。Hondaのインターナビ・システムを通じて収集した情報と、リアルタイムに発信される社会のさまざまな情報を組み合わせることで、多くの方々に役立つサービスの提供を目指すプロジェクト。